

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成26年度第1回 西脇市障害者地域支援協議会
開催日時	平成26年8月7日（木） 午後2時 ～ 3時30分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 会議室2
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	藤本次郎、南 久雄、竹内泰彦、亀岡澄子 森 一人、小谷義之、久下 弘、西山富江 藤井恵子、勝岡めぐみ、平田裕昭
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	内藤 格、益田 毅
出席職員の職・氏名又は人数	福祉総務課 課長 高田洋明、課長補佐 的場定美 主査 長井恵美 相談支援事業所 ういーぶねっと 相談専門員 藤井志帆 ぱれっと 相談専門員 山本勇樹
公開・非公開の別	公開（一部非公開）
非公開の理由	個人情報に関する事項
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	福祉事業の現状と今後必要な制度や事業について
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義な協議会になるようご協力をお願いします。</li> <li>・協議事項について、事務局から説明願う。</li> </ul>
事務局	<p>(1) 福祉事業の現状と今後必要な制度や事業について</p> <p>○報告1 障害福祉関係者会議内容（資料1） 資料1に沿って事務局から説明</p>
相談事業所	<p>○報告2 相談事業所がかかわる事例紹介</p> <p>【事例①】西脇市内にないサービスを利用してもらうために、他市にある施設と調整を行っているケース</p> <p>【事例②】家族全体を支援するために様々な機関と連携しているケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談専門員から資料に沿って内容説明</li> <li>・個人情報保護により詳細は非公開、資料は会議終了後に回収</li> </ul>

事務局	<p>○報告3 障害者基本計画及び第3期障害福祉計画の実績について</p> <p>資料2に沿って事務局から説明</p>
委員	<p>■報告1に関する質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月24日の会議で医療に関する意見が出ていることについて、資料提供を受けて医師会で相談した。</li> <li>・障害者の医療に関して医療関係者が課題に思っていることは、障害種別やその人が置かれている状況等が多種多様であるということ。子どもだからといって小児科だけでいいというわけにはいかないし、西脇病院が障害者の医療に関することは全面的にバックアップするとなればそれはそれでいいのかもしれないが、現実的には西脇病院に全ての診療科を集約することも難しいと思われる。</li> <li>・医療機関から「うちはこういう人を診察できますよ。こんなことをしていますよ」と情報を発信することは困難。それよりも相談支援センターに情報を集約し、その人をきちんと診てくれそうな医療機関を紹介してもらった方がいいと思う。</li> <li>・さぼーとノートについては、今回初めてそのような物があるということを知ったが、環境に慣れるまで時間を要する等、ノートでの的確に症状を訴えることができるか。医師がどういった情報をほしいと思っているかは、実際に医療機関に行ったときに直接医師と話をした方が伝わりやすい。</li> <li>・保護者としてはいろいろなことをしてほしいとの思いがあるようだが、それを受け入れる側の体制についても考える必要がある。</li> <li>・しかし、医師会でもこの話について我々に何ができるかということをもっと検討しないといけないと感じている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関に関する情報を収集し、必要な人に適切に提供できるような体制づくりは必要</li> <li>・障害当事者が医療を受けやすいような準備は必要。例えば、障害の程度にもよるが、子どもに対し「痛いけど我慢せなあかんよ」と言うだけでなく、「なぜ痛くてもその治療をする必要があるのか」と納得できるように説明できたり、保護者が子どものことを医療関係者らに的確に説明できるよう勉強しておくことも必要。また、医療関係者にもそういった障害のある人のことをわかろうとする姿勢で対応してもらうなど、双方の歩み寄りによって医療が受けやすい環境づくりを</li> </ul>

	<p>進める必要があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある成人の施設で、健康診断をする前に、絵を使って、なぜそれが必要なのかを説明したところ、これまで健康診断を受けることが大変だった利用者がスムーズに受けることができたとの報告もある。そういった取組についても相談支援センターが情報を収集し、他の場面でも活かせるよう流せたらいいかもしれない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療については、西脇の地域内だけで完結することも困難。兵庫県全体で考えないといけない診療科などもあるかもしれないと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療に限らず、必要な物が全てそろっている地域はない。きちんとした情報がそろっていることが重要で、情報の基地局となる場所が必要</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援センターは公平、中立な立場でいることが大切。それぞれの施設の特徴を知るためにその場所に行き、時には辛口な評価もして、対象者に合った場所を紹介できるようにしてほしい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターをつくることは難しいのだろうか。兵庫県内の状況はどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県下に7か所あり、行政規模が大きな自治体が設置している。ほとんどが社会福祉協議会に委託して運営している。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターには専門職を配置することができるので、メリットはあると思われる。</li> </ul>
	<p>■報告2に関する質疑応答は非公開</p>
会長	<p>■報告3に関する質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね「A」評価だが、防災関係等役所内の他の部署との連携が必要な項目で評価が低くなっているように見受けられる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進みづらい状況はある。実績を取り始めたのは平成25年からだが、進捗状況を管理することにより、計画にあげるだけで</li> </ul>

	<p>なく、何らかの動きを取るとい方向に進むのではないかと感じている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は「録音図書の設定なし」となっているが、図書館が移転した後には設置されるのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ、そこまでの内容は決まっていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点訳ボランティアのサークルは、資金がない中で活動している。市から何か支援できないか。現在使用している点字プリンターが老朽化しており、パソコンも古い形式である。今使用しているプリンターやパソコンが壊れたらどうされるのかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に対する助成は社会福祉協議会から行っているが、助成額が少ない現状にある。また、市の広報なども点訳してもらっているが市からの助成もない。何らかの手立てが取れないか社会福祉協議会と話をしてみる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「成年後見制度法人後見支援事業」の実施がなかったという結果だが、対応できる事業所がなかったのか。成年後見制度の利用状況は地域によって大きく違う。進んでいる地域との差が大きく、実施がないというのは残念に思う。育成会や精神障害者の家族会等から要請することも有効ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会に打診したが、昨年度は対応不可とのことだった。社会福祉協議会が策定している地域福祉推進計画に「検討する」との表記がされているので、前向きに検討してもらえと思っている。</li> <li>・成年後見制度の市町申立てで対応することや、高齢の保護者から相談を受けた場合に市職員や相談支援センターが申立てを手伝うこともある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者相談事業」の相談員はそれぞれ一生懸命やっているが、評価が「C」となっているのはなぜか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの相談員が相談を受けて対応して実施状況は①（計画通り実施できている）としている。相談員からあがってきた相談結果を、掘り起して次の支援や施策につなぐことがで</li> </ul>

委員	<p>きていないという行政側の課題が残されているため「C」評価となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自主防災組織等の育成」について、聴覚障害者はいざという時、どこに避難したらいいか等の情報を収集するのが困難である。また、災害時に避難することも大変である。以前、社会福祉協議会が主催で実施された、車イスの人たちと一緒に避難所まで行くという訓練に参加したことがある。同様の訓練を各地域で、そこに住む障害者と一緒にできないか。訓練を通じ、障害のある人が避難するためにはどんなことが必要かなどを、地域の人と一緒に考えるだけでもとても有益だと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に、障害者が情報を的確に受け取ることができないといった指摘は各所でされている。西脇市の実情に応じ、西脇市独自の情報が定期的に届けられるような仕組みづくりについてはぜひ検討していただきたい。</li> </ul>
委員	<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会だよりに、手話言語条例についてこの協議会で検討するとの内容が掲載されていたが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話言語条例について、制度の状況等の資料が調製できなかったため、本日の協議会の議題にあげることを見送った。次回の議題にする予定である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日出た多くの意見を参考に、事務局では次期の計画作成に取り組んでいただきたい。</li> <li>・閉会</li> </ul>
問合せ先	<p>西脇市福祉生活部福祉総務課  電話 0795-22-3111 (内線262)  FAX 0795-22-6037</p>